

実践！派生開発を成功させる XDDP セミナー

「XDDP」を現場で実践するための「考え方」と「技術」を習得！

日 時：2020年1月15日（水）～16日（木）

■本セミナーの特徴

実際の開発現場では「派生開発」が開発の大半を占めています。しかし、従来の「新規開発」と同じ“プロセス”では「派生開発」を合理的に扱うのは困難です。当セミナーでは、現状の派生開発の問題点を明確にし、清水吉男氏が提唱した派生開発プロセス「XDDP (eXtreme Derivative Development Process)」の基本的な考え方とプロセスを理解します。そのうえで、「XDDP」の3点セットである「変更要求仕様書」「トレーサビリティ・マトリクス」「変更設計書」の基本を実践的な演習を通して習得します。「新規開発」と同じ取り組み方では「派生開発」は間違いなく混乱します。派生開発で苦労されている方、必見のセミナーです。

1. 特徴

- 「派生開発」に取り組むポイントが明確になります。
- XDDP の考え方、プロセスを体系的に理解することができます。
- 講義・演習・発表を通じて、効果的かつ効率的に知識やスキルを習得できます。
- 演習では一人一台パソコンを使用し、実際に派生開発（仕様変更）を体験していただきます。体験型の演習により、実業務に近い内容で実践的に学ぶことができます。

2. 対象

- 派生開発に関わるすべての技術者*、管理者
- XDDP をより深く理解したい方

※技術者*：開発技術者、品質管理・品質保証担当者、プロセス改善担当者

3. 研修の「目的」と「ゴール」

<講義>

目的：派生開発、XDDP を体系的に学びます。

ゴール：派生開発の特徴と問題を把握し、XDDP が派生開発の問題をどう解決しているか理解します。

<演習>

目的：「変更要求仕様書」「トレーサビリティ・マトリクス」「変更設計書」（XDDP の3点セット）の基本スキルを身につけます。

ゴール：実際の開発現場で、XDDP の3点セットに取り組むために必要な考え方と基本事項を習得します。

■参加者の声

- ・XDDP3 点セット「変更要求仕様書」「トレーサビリティ・マトリクス」「変更設計書」の基本的な使い方を理解し、した。変更影響度の調べ方、表現方法がわかりました。
- ・デジタルトランスフォーメーション (DX)、IoT を例に派生開発スキルの重要性と実施の難しさを理解することができました。すでに導入している USDM とあわせて XDDP を活用していきたいです。
- ・講義だけではなく、一人一台のパソコンと実機を使った演習により、実業務に近い内容で実践的に学ぶことができました。



■カリキュラム (2日間)

1 日目 9:30～17:00	1. アイスブレイク 2. 派生開発の現実と問題 3. XDDP の基本 4. 機能追加プロセス
2 日目 9:30～17:00	5. 変更プロセス 6. XDDP 実施の注意点 7. XDDP の評価と効果 8. まとめ (Q&A)

- 講師 **古畑 慶次 氏** 派生開発推進協議会 副代表
(株式会社デンソー コアスキル開発部 担当課長)

- 会 場：一般財団法人日本科学技術連盟・東高円寺ビル
- 参加費 (税抜)：57,000 円 (一般) / 50,000 円 (賛助会員)
- お申込・詳細はこちら >>>

<http://www.juse.or.jp/src/seminar/detail/99/24059>

※2019年度(2019年4月～2020年3月)は消費税軽減策措置法の総額表示義務の特例により税抜価格を表示させていただきます。

- セミナーのお問い合わせ先：
 一般財団法人日本科学技術連盟 SQiP セミナー担当
 TEL：03-5378-9813 FAX：03-5378-9842 E-mail：sqip@juse.or.jp